

日本医師事務作業補助者協会 第5回三重地方会 活動報告

テーマ：『臨床支援の基本を学ぶ大切さ・・・』

開催日：2024年6月29日（土）

会場：独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター附属三重中央看護学校

今回は、約20名のほぼ全スタッフが参加して下さった近隣施設があったり、遠方の熊本からも参加していただくなど50名の参加者により開催しました。

当日は、三重中央医療センターの下村 誠院長の挨拶から始まり、和やかな雰囲気の中で進められました。



最初に、三重中央医療センターの脳神経外科医長 深澤 恵児先生から脳神経外科領域に関する基礎知識をテーマに『脳卒中について学ぼう！』と題して、スライドと各種の動画を用いた講義をしていただきました。

脳卒中の分類から始まり、病名ごとに症状・検査・治療方法を一連の流れで解説していただき、生活習慣を正すことで予防ができることも伝えていただくなど、終始解りやすいお話で参加者も聞き入っていました。



次に、社会医療法人若弘会 若草第一病院のスポーツ整形外科部長 今田 光一先生から『電子カルテ・電子パス医療を支える臨床支援士のチカラと知識』について、幅広い視点からお話いただきました。

現在、医師事務作業補助者は医師の働き方改革を推進する中で、医師からの代行入力業務の多くを担っていますが、「代行入力7つの鉄則」として、業務遂行上これだけは理解して業務を行うこと、又は見直すべきことなどを教えていただき、今後、これまでの業務を見直していくとても良い機会になりました。



会の後半は、本会では恒例となっているグループワークの時間で、今回は他己紹介というアイスブレイクで参加者の緊張感をほぐした後、グループごとに各自施設での問題や疑問点などを出し合って話し、大いに盛り上がっていました。

最後の時間は、今田先生への質問タイムとして多くの参加者から質問・疑問？などを沢山投げかけました。中には聞きたいことを施設から記載して持って来ていた参加者もいたりしましたが、先生はどんな質問にも答えていただき、所謂、教科書のない医師事務作業補助者に先生は沢山の



知識を与えてくださいました。また、いつの間にか先生自身もグループに馴染んで、笑顔で時間を過ごしていただいていたのがとても印象的でした。

今回も、最初から最後まで参加者が笑顔で開催することができ、開催にご協力いただいた講師の先生方や関係者の方々、並びに参加していただいた方々に心より感謝を申し上げます。

これからも皆さんが笑顔で業務が継続できるように、この会を継続していきたいと思ひます。

(三重中央医療センターMA主任 宮本由季)

